

個人総合で高田君優勝

田辺工業 団体は7連覇

県高校体操新人大会

県高校体操競技新人大会が12、13日、田辺市上の山1丁目の田辺スポーツパーク体育館であり、個人総合で田辺工業2年の高田佑貴君が優勝した。男子団体では田辺工業が7年連続14回目の優勝を果たした。

個人と団体の部に田辺工業のほか田辺、向陽、和歌山北、和歌山工業、近大和歌山の選手が出場した。

男子個人総合で、高田君は79・400点を記録。6種目中、ゆか、あん馬、つり輪、平行棒の4種目で1位になる強さを見せた。高田君は「所々でミスはあったけど、新しい技にも挑戦できて次の大会につながる演技ができた」と話している。

個人総合で田辺工業は、1



高田佑貴君

年の今岡一斗君が3位、2年の
中田雅貴君が4位、1年の

上村昌臣君が6位に入った。
男子団体の部には田辺工業
と和歌山工業が出場。両校

優勝した田辺工業男子団体の
(左から) 上村昌臣君、
田野智樹君、中田雅貴君、
鈴木龍君



のメンバー4人がそれぞれ6種目を演技し、点数を競った。田辺工業は和歌山工業の得点を大差で上回って優勝した。

田辺工業の団体メンバーは、田野智樹君、鈴木龍君、中田雅貴君(以上、2年)、上村昌臣君(1年)。主将の田野君は「失敗はあったけどみんなでカバーして一人一人が全力を出せた。来年の大会にはもっと成長した姿で臨みたい」と意欲をみせている。